

小規模特認校の紹介～特色ある教育活動～

※学校のホームページやブログからご覧になれます。

【出雲市立上津小学校】

ホームページ：<https://www.izumo.ed.jp/kamitsu-sho/> ブログ：<https://blog.izumo.ed.jp/kamitsu-sho/>



【少人数によるきめ細かな教育】

少人数で学習することで、一人一人の課題に対応しやすく、めあてに沿った学習ができます。全職員で子どもを見守り、相談しやすい体制ができています。ペアやグループ学習もさまざまな教科で取り入れています。



【情報タイム】

週に1回、全学年が約30分間の時間を取り、タブレットを使いながら情報に関することを学んでいます。情報スキルだけでなく、情報モラルやリテラシーについても学年に応じた学習を進め、まとめや発表の際に生かしています。



【ふるさと教育】

上津にある「ひと・もの・こと」を取り入れた学習を進めています。米や野菜づくり、「カエルランド」等を活用した環境学習、獅子舞等の伝統芸能についての学習など行い、地域の皆さんにも、たくさんお世話になっています。



【全校での活動】

『人権の花』の世話、人間関係づくりや対話力育成を目的とした『だんだんタイム』、体育会や1年生を迎える会など、高学年を中心に全校で行います。みんなが顔なじみで、休み時間も違う学年が一緒に遊んでいます。また、『野山の集い』では4年生がリーダーとなり、活動に取り組んでいます。

【出雲市立みなみ小学校】

ホームページ：<https://www.izumo.ed.jp/minami-sho/> ブログ <https://blog.izumo.ed.jp/minami-sho/>



【幼小の交流活動（幼小連携）】

子どもたちは遊びを通してさまざまな経験、体験をして成長していきます。そのため、遊びの時間や縦割り活動の時間はとても重要だと考えています。みなみ小学校では朝山幼稚園との交流を通じて3歳から12歳の子どもたちがかかわり合いを持ちます。幼児、児童がともに過ごし、一緒に遊ぶことはとても大切な体験です。5年生は幼稚園の子どもたちと田植え体験をします。田植えの前に5年生は幼稚園の子どもたちと顔合わせをし仲良くなる遊びをするので、名前を呼びながら一緒に楽しく活動します。



【みなみ探険（ふるさと教育）】

みなみ探険ではふるさとの良さをすることを目的に全校児童と幼稚園児とで、乙立・馬木・朝山・所原（見々久）と毎年順番に周っています。お話を聞いたりクイズをしたりする中で今まで知らなかったことを知ることもでき、あらためて、ふるさとみなみには素晴らしい歴史や文化、自然があることに気づくことができます。このみなみ探険では縦割り班に分かれて活動します。上学年は下学年や園児に声をかけたり、一緒に手をつないだりします。地域の方にも見守っていただきながら、地元の方とふれあうこともできます。



【高齢者のみなさんとの交流（福祉教育）】

1年生は「みどりの郷」、3年生は「乙立コミュニティセンター」で高齢者の方との交流をしています。学級の紹介をしたり、歌を歌ったりした後、お手玉、折り紙、自分たちで考えたゲームなどを一緒に楽しみます。子どもたちも地域の皆さんの愛情をたっぷりと感じる事ができ、高齢者の方もみなさん笑顔でかかわってくださり、本当に心がポカポカする素敵な時間になっています。



【なかよし運動会】

朝山幼稚園とみなみ小学校の強みは縦割り集団の力です。5, 6年生の心強い、一生懸命なリーダーシップと3, 4年生の明るく、優しい関わり、1, 2年生のそれに応えてがんばろうとする姿。そして、それを生き生きと楽しむ園児の様子。こうした今まで受け継いできた集団の力で、さらにそれぞれが成長し、互いに高め合っていくことができる環境にあります。今後も次の成長へとつながる学びの場を大切にしていきます。

【出雲市立稗原小学校】

ホームページ：<https://www.izumo.ed.jp/hiebara-sho/> ブログ：<https://blog.izumo.ed.jp/hiebara-sho/>



【幼・小共通のキャッチフレーズ 「ときめき ひえばらっこ」】

幼・小共通のキャッチフレーズのもと、教育活動を推進しています。

「とき」 … トキ放鳥地に決定！
トキに関する学習の推進
「めき」 … めきめき力をつけよう！
学びづくり 自分・仲間づくり
心からだづくり
「ときめき」 … ドキドキする体験をたくさんしよう！



【コミュニティスクールを生かした 教育活動の推進】

コミュニティセンター、幼稚園と一体となった校舎で、連携した教育活動を推進しています。文化祭でのブース参加や合同体育大会、神楽や米作り、餅つきなど地域と連携した活動をたくさんしています。幼小連携も盛んで、たけのこ掘りなど様々な交流活動を行っています。



【トキ放鳥に向けた教育活動の推進】

令和9年、西日本で初めてとなるトキの放鳥地に所在している本校では、5, 6年生を中心にトキに関する学習を始めています。今年放鳥があった石川県羽咋市の小学校との交流も決定しました。また、幼稚園と1, 2年生は地域の豊かな自然に触れる遊びや体験を、3, 4年生は地域の川の水質調査から自然環境を考える学習に取り組んでいます。



【少人数を生かしたきめ細やかな 指導・支援の充実】

本校では、「自律的学力育成」をめざし、自分たちで学習を進める力を高め、対話的な学びを大切に授業を展開しています。また、縦割り活動等をとおして、「認め合い、支え合い、高め合う関係づくり」を進めています。全教職員で子ども一人一人を多面的に見つめることを心がけて教育活動を推進しています。

【出雲市立伊野小学校】

ホームページ：<https://www.izumo.ed.jp/ino-sho/> ブログ：<https://blog.izumo.ed.jp/ino-sho/>



【充実した地域学習】

「シジミ漁の見学」、「伊野米の栽培」、「ゴルフ体験」など、伊野の方にお世話になりながら充実した学習をしています。子どもたちは、このような他ではなかなかできないような見学や体験から様々なことを感じたり、考えたりしながら伊野のことや感謝の気持ちなどを学んでいます。



【伊野いちへの参加】

住民と一緒に産直市運営をする「伊野いち」。出雲市内外からたくさんのお客さんがいらっしゃるイベントに5、6年生が中心となって参加しています。全校で育てたサツマイモ等を販売したり商品の袋詰めやおもてなしコーナーのお手伝いをしたりして、「人に喜んでもらえること」「人のやさしさ」、「地域の人の思い」など、様々なことを学んでいます。



【かかわりから学ぶ縦割り班活動】

いろいろな学年の人とかかわることで、感謝や思いやり、尊敬など様々な心情が育つ活動をしています。「縦割り班メンバーとの出会い」、「縦割り班遊びで楽しむ」、「サツマイモの栽培・縄跳び集会等で協力する」、「6年生を送る会でのフィナーレ」など、1年間を通してストーリー性のある活動を計画し、意図的な場の設定や指導をしています。



【自分の将来と地域の未来】

伊野で様々な学びをしている子どもたち。特に6年生はその集大成として、伊野の未来について地域課題と自分とをかわらせて自分たちにできることは何か考え、『町の幸福論』（3年前まで6年生の国語の教材）の著者である山崎亮さんに提案しアドバイスをいただく機会を設定しています。伊野を通して、自分の将来や社会を見つめるきっかけとなっています。